

ふくしま産業応援 ファンド事業

【助成金公募のお知らせ】

研究開発をお考えの福島県内中小企業者の皆様へ

新商品・新技術等の調査・分析、開発、販路開拓に係る経費の一部を助成します。

県内中小企業者の皆様の新製品・新技術及びその構想について、市場調査、事業可能性調査及び開発並びに販路開拓について支援することにより、新産業の創造、新規市場の開拓、未開拓市場への参入を促進し、本県産業の活性化、本県産業の自立的発展を図るために実施するものです。

本公募は、令和4年度福島県予算の県議会での成立を前提としていますので、予算成立が本事業実施の条件となります。

公募期間

令和4年2月16日(水)▶3月31日(木)

必着

助成対象期間

交付決定日(5月上旬予定)～令和5年1月31日まで

(販路開拓事業は、令和5年3月20日まで)

採択額が予算額に達しない場合、次回公募を令和4年4月下旬～5月末の期間で、予算額に達した場合、
次回公募を令和4年8月中旬～9月末での実施を予定しています。

	助成対象者	対象経費	助成率	助成上限額
事業可能性等 調査事業	次のいずれかに該当する者 ①県内に事業所を有する中 小企業者、NPO法人等 ②助成期間内に県内におい て創業する者 ③①、②で構成されるグルー プ(※みなし大企業は対 象外となります)	●旅費 ●調査・分析費 ●その他の事業費 ●原材料費 ●機械装置・工具器具費 (生産に転用可能な設備は対象外) ●外注加工費 (主たる研究課題は外注不可) ●技術指導費 ●その他の事業費 ●展示会出展関連費用 ●広告宣伝費 ●印刷製本費 ●外部委託費 ●職員等旅費 ●その他の事業費	助成対象経費の 1/2以内	100万円 500万円 100万円
技術開発事業				
販路開拓事業 (※自社の新商品、 新製品に関するもの)				
中小企業育成 支援事業	県内の商工関係団体、 金融関係団体、金融機関、 産学連携機関等	●謝金・旅費 ●会議費 ●印刷製本費 ●通信運搬費 ●その他の事業費	助成対象経費の 10/10以内	100万円

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本公募にかかる説明会は実施いたしません。

※公募期間の内外を問わず、申請を希望される場合には、必ず事前にご相談ください。



【お申込み・お問い合わせ先】

公益財団法人福島県産業振興センター
技術支援部 技術総務課

〒963-0215 郡山市待池台 1-12 福島県ハイテクプラザ内

TEL : 024-959-1929

E-Mail : f-tech@f-open.or.jp

LINE 公式アカウント : @157njtwe

テクノ・コム

URL : <https://fukushima-techno.com/r/>



LINE QR

応募から事業終了までのスケジュール例

～3月末	4月上旬～4月末		5月	1月末	2月以降
応募 (助成金交付申請書の提出)	事務局ヒアリングの実施	審査委員会による審査	採択者決定	採択通知、助成事業開始	助成事業の完了 (事業の実績報告後) 助成金額確定、助成金支払い (事業終了後) 事業化等状況の定期報告

事業の取り組み事例

脊椎手術等で使用される手術用開創器システムの開発（郡山市）

利用
時期

可能性調査
ステップ

試作・開発
ステップ

販路開拓
ステップ



脊椎手術等で使用される低侵襲開創器及び周辺装置の開発を行った。国内で使用されている開創器シェアは米国メーカー3社の製品がほぼ100%を占めており、日本人医師が望む改良やアフターサービスが十分でない状況であった。日本人医師のニーズに合わせた開創器システムの提供やスムーズなアフターサービスを求める声が医療現場に多くあったことから、本開発に取り組んだ。開発品を複数の医療機関で試験評価していただいたところ、高い評価を得て、事業化に至った。

福島県内の「中硬質な地層」において浅部地中熱交換器設置に伴う既存ボーリングマシンの改良および小型化技術開発（郡山市）

利用
時期

可能性調査
ステップ

試作・開発
ステップ

販路開拓
ステップ



本事業では小規模施設において地中熱利用システムを導入するにあたり、日本大学工学部機械工学科【再生可能エネルギーシステム研究室】との共同開発によって、既存のボーリングマシンに改良・開発を施し、全国初の一般住宅専用地中熱ボーリングマシンの開発に成功した。

主な特徴は、小型のボーリングマシンなので狭隘地でも施工が可能であり、施工箇所の地質状況に合わせて専用のツール等に交換すれば、循環水と高圧エアーとの2工法を選択して効率的に熱交換器を設置することが出来る。

吸音ローパーティション・吸音壁貼りパネル・吸音デスクトップパネルの販路開拓（浅川町）

利用
時期

可能性調査
ステップ

試作・開発
ステップ

販路開拓
ステップ



近年、オフィスやコールセンター、医療施設等で会話の音漏れを軽減させたいというニーズが高まっていることから、施設に後付けで設置できる吸音パーテーション、吸音パネルを開発した。これら製品の販路開拓を行うため、オフィス事務機器業者、企業の総務担当者、コールセンターや医療機関の担当者をターゲットとした、首都圏の展示会へ出展するとともに、業界紙等への広告掲載を行った。

開発品の性能が優れたものであり、かつ、展示会や業界紙の選定についてよく検討が行われていたため、その反響は非常に大きく、多数の受注を獲得した。

一企業を育て地域を伸ばす 郡山商工会議所事業に協力しています。